

2016年9月下旬刊行予定●予約申し込みのご案内

鶴見俊輔（1922—2015）、93年間の生涯。
最後のときまで、
彼は自選の編集を続けていた——。

解説 加藤典洋（文芸評論家）

鶴見俊輔 敗北力——Later Works——

刊行のごあいさつ

鶴見俊輔さんは、自身の「Later Works」（晩年の仕事）のありかたについて、関心を抱いていました。

自分の「もうろく」が、どんなふうにも、みずからの著作の上に作用をもたらすかについても。

老境というものが、ただ知的体力の衰えだけを意味するのではなく、むしろ、文章という表現行為にまつわる余計な飾り気を洗いさって、新たな風景の広がりにもちびいてくれるのではないかと——そのような期待も、鶴見さんにはあったのでしょうか。

ことに90代に入ってから、みずからの文章の表題を記したカードを何度となく並べ替えて、この「Later Works」編集の構想を練っておられたとのこと。この時期に入ると、著作として発表されるものは少なくなっていました。なお、こうした自選編集という行為を通して、社会へのコミットメントと意思表示を手放さなかったとも言えるでしょう。

「敗北力は、どういう条件を満たすときに自分が敗北するかの認識と、その敗北をどのように受けとめるかの気構えから成る」

「今回の原子炉事故に対して、日本人はどれほどの敗北力をもって対することができるか。これは、日本文明の蹉跎だけではなく、世界文明の蹉跎につながるという想像力を、日本の知識人はもつことができるか」（「敗北力」、2011年。本書より）

本書は、この鶴見さん自選（《著者自編 Later Works》）22篇に加え、晩年の《未発表詩稿》5篇、ならびに著者後期の《未収録稿》9篇から成る予定です。

鶴見俊輔さんが、最後のときまで営みを続けた思索の座に、読者のみなさまにも加わっていただきたく存じます。

鶴見俊輔著『敗北力——Later Works——』は、9月下旬刊行の予定です。ゆかりの読者のみなさまに、予約申し込みによるご支援のお願いを申し上げます。

お申し込みをいただいた方には、本ができあがり次第、最優先で、責任をもって郵送にてお届けいたします。

2016年 文月

編集グループ SURE（代表・北沢街子）

お問い合わせは

編集グループSURE

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町47 電話・ファクス 075-761-2391

Eメール info@groupsure.net ホームページ <http://www.groupsure.net>

本書の目次

《未発表詩稿》

無題／ため口／おぼつかなく／それをさがしあてたい／彼ののこしたもの

《著者自編 Later Works》

なれなかったもの／敗北力／遠慮なく申します
／人文研創立80周年記念講演／没後の門人として
／日本人は状況から何をまなぶか／学校の外
／この時代と会う山本宣治／茨木のり子伝 選
評／われとともに老いよ／身ぶり手ぶりから始
めよう／老人のつきあい／いつもそばに本が／
上野千鶴子の軌跡／「井上ひさし」という不在
／梅棹忠夫頌／中谷吉郎の文体／たっぱのある
人／おはなしの必要／マッチのラベルにのる
小人たち／受け身のカ／二〇一一年を生きる君
たちへ

《未収録稿》

兵役拒否と日本人／神谷美恵子管見／この時代
の井戸の底に／内にある声と遠い声／湯ヶ島で
の句会／善人（未発表）／小田実おぼえがき（未
発表）／丸山真男と竹内好

あとがき

（目次は、変更する場合があります）

ご注文方法（本書は直接販売のみです）

同封の、または郵便局備付けの郵便
払込用紙に、ご住所、お名前、電話番
号、書名（『敗北力』）、冊数をご記入の
上、

（00910-1-93863 編集グループ SURE） あてに、**一冊につき 2591 円**（定価 2376 円+送料 215 円）をお払込みください。本が出来上がり次第（9 月下旬予定）、最優先で、わたくしどもより責任をもって、郵送にてお届けいたします。

※送料は一回のご注文につき、書籍、雑貨を問わず何点でも 215 円です。（日本国内、同一の宛先に）

鶴見俊輔

『敗北力——Later Works——』

2016年9月下旬刊行予定

四六判・上製、192 ページ

定価 2376 円（本体 2200 円+税）

発行・発売 編集グループ SURE